

■令和3年度 第2回大阪府環境審議会野生生物部会(R3.12.8)での主な意見との対応について

資料2-4

(シカ計画)

項目	頁	意見	対応
5	P5	南部地域のシカの見撃情報等の図について、記載を工夫すること。	南部地域のシカの見撃情報等の図について、捕獲報告のあるメッシュに報告年度を記入しました。
7	P10	個体数管理にあたっては、推定生息密度の平均値は管理上の“目安”であるため、極端に生息密度が高い地域が生じないように留意すること。	個体数管理の目標の達成にあたっては、極端に生息密度が高い地域を減少させるように努めることとすることについて記載しました。
7	-	シカの生息状況等に関する普及啓発を強化すること。	今後、ホームページ等を通じて、市民等に対して一層の普及啓発していきます。
7 8 9	P11- 12 P14 P14	森林被害対策は個体数管理、農業被害対策は被害防除対策と個体数管理が基本的な対策法となることが分かるように記載するとともに、本計画では、被害防除対策を強化していくことが明確に分かるような記載にすること。	森林被害対策は個体数管理を基本とし、被害が著しい区域や保全上重要な区域において、防護柵等の対策を講ずることについて記載しました。 農業被害対策については、個体数管理の考え方(P11)において、適切な被害防除対策の実施が前提であり、併せて個体数管理を行うとともに、生息密度が低い地域では、被害防除対策を強化が必要であることについて記載しました。
8	-	道路法面等の草地におけるシカ対策について検討すること。	今後、道路事業者や捕獲者、市民等に対し、継続的に啓発していきます。
11	-	処理加工施設の整備にかかる補助金を紹介するなど流通させるための体制整備を推進すること。	今後、捕獲者や関係機関等に対し、処理加工施設の整備にかかる補助金を紹介する等の普及啓発を継続的に実施します。
11	P17	SDG'sについて、健康に関する項目と気候変動に関する項目を追加すること。	SDG'sについて、健康に関する項目と気候変動に関する項目を追加しました。